



**小関 敏彦 (KOSEKI Toshihiko)**

理事・副学長、EMP 室長  
工学系研究科 教授

東京大学工学部卒業、  
マサチューセッツ工科大学 博士課程修了  
Sc.D (Materials Engineering)

---

新日本製鐵において鉄鋼材料の研究開発に従事後、東京大学工学系研究科助教授を経て、2004 年から現職。2014 年から副学長、2015 年から大学執行役・副学長。2017 年から理事・副学長および EMP 室長。

専門は金属材料学。鉄鋼材料、金属材料のミクロ・ナノ組織の解明と制御、相変態、ナノ金属材料の力学挙動、異種金属の界面・接合などに関する研究に取り組んでいる。また、超高強度と高延性を両立する新たな複層金属材料の研究開発を産官学の中心となり推進。

ASM (American Society for Metals) フェロー、AWS (American Welding Society) フェロー、日本溶接学会フェロー。主な受賞に日本金属学会功績賞 (2001)、日本鉄鋼協会学術功績賞 (2015) など。日本学術会議連携会員。